



あしよろ

No.194

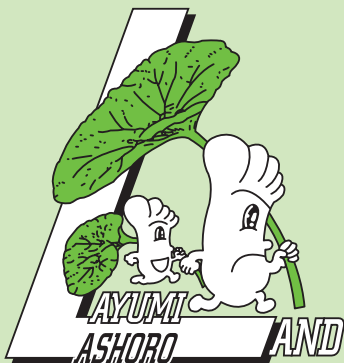
議会だより

2018.8

北海道足寄郡
足寄町議会発行



足寄高校観岳祭仮装パフォーマンス（平成30年7月7日）



予算・条例等の審議内容	2～4ページ
一般質問（2議員が登壇）	5～6ページ
一般質問のその後など	7ページ
議会の動きなど	8ページ

第2回 定例会

第2回定例会は6月5日から18日までの14日間の日程で開催され（6、13、16、17日は休会）、初日は、議長の諸般の報告、町長からの行政報告を受け、その後、報告、工事請負契約、条例改正など16件の議案を審議（関連記事2～3頁）し、原案どおり承認、可決されました。また、請願については総務産業常任委員会へ付託し、会期中の審査としました。

14日は、付託された請願の委員会報告がされ、採択された後、2名の議員による一般質問（関連記事4～5頁）が行われました。

15日は、町長から4会計の平成30年度補正予算の提案説明を受け、即決で審議し、原案どおり可決しました。その後、追加日程で、工事請負契約と意見書案1件、研修会等への議員派遣、2常任委員会からの所管事務調査期限の延期について、3委員会からの閉会中継続調査申出を原案どおり可決、承認、請願1件を総務産業、文教厚生両常任委員会へ付託し、閉会中の審査として、会期を1日残し閉会しました。

報告

◆繰越明許費繰越計算書

平成29年度一般会計予算で多目的交流施設整備事業、バイオガスプラント導入支援事業など9事業3億7008万3千円を翌年度へ繰り越すもの。

◆予定価格1千万円以上の工事又は製造の請負契約締結
議会総合条例の規定により報告するもの。

条例審議

◆足寄町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

経過措置に係る適用時期について改正するもの。

◆足寄町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
条文中、関係機関の名称を

変更するもの。

予算審議

◆平成30年度一般会計など4会計の補正予算は、6月15日に即決で審議され、原案どおり可決されました。

可決された予算の主な内容は次のとおり。

◆一般会計補正予算

- ・（仮称）芽登集落センター基本設計業務 533万8千円
- ・認知症高齢者グループホーム整備事業

平成30年度 各会計の補正予算額

（平成30年6月15日現在）（単位：千円）

	補正額	総額	
一般会計	527,197	10,738,031	
特別会計	公共下水道事業	3,240	638,968
	足寄市街地区土地区画整理事業	△117	53,779
総合計	530,320		

※簡易水道特別会計は、補正を行いました予算額に変更はありません

- ・新町温泉付随ガス利用施設整備工事 1億2625万2千円
- ・（木村議員・星議員質疑あり）有害獣（エゾ鹿）防除施設復旧事業補助金 1530万円
- ・雌阿寒温泉ガス対策工事 3123万2千円
- ・（熊澤議員質疑あり）防犯灯整備工事 2025万円
- ・（高橋秀樹議員質疑あり）大嘗地市街通整備工事 929万9千円

- ・三笠通駐車場フェンス更新工事 288万4千円
- ・（榊原議員・田利議員・前田議員質疑あり）里見が丘公園整備工事 2500万円
- ・（多治見議員質疑あり）はるにれ団地CLT棟整備調査業務 496万8千円
- ・（高橋秀樹議員質疑あり）消防庁舎訓練塔バルコニー解体撤去工事 350万3千円
- ・（木村議員質疑あり）足寄小学校教員住宅新築工事 5700万3千円

◆足寄都市計画足寄市街地区土地区画整理事業特別会計補正予算

- ・建物収去代替執行弁償金（滞納繰越分） 353万7千円



建て替え予定の芽登集落センター

人事

◆公平委員会委員の選任について

7月8日、前任者の任期満了に伴い、新任候補者大貫裕弘さん（61歳・足寄町南6条6丁目）の選任に同意しました。任期は3年。

契約

◆はるにれ団地公営住宅新築

建築主体（5号棟）工事請負契約

・契約の方法…指名競争入札
・契約金額…7592万4000円

・納入期日…平成30年12月28日

・契約の相手方…足寄町西町8丁目1番地12

株式会社外田組
(田利議員質疑あり)

◆はるにれ団地公営住宅新築

建築主体（6号棟）工事請負契約

・契約の方法…指名競争入札
・契約金額…6274万8000円

・工事期日…平成30年12月28日

・契約の相手方…足寄町旭町1丁目34番地

原建設株式会社

◆消防ポンプ自動車CD-I型（螺湾1号）購入売買契約

・契約の方法…指名競争入札
・契約金額…2894万4000円

・納入期日…平成31年2月28日

・契約の相手方…札幌市東区苗穂町13丁目2番17号

株式会社北海道モリタ

◆小中学校タブレットパソコン購入・無線LAN環境整備業務契約

・契約の方法…指名競争入札
・契約金額…1611万3600円

・納入期日…平成30年9月14日

・契約の相手方…帯広市西19条南1丁目4番地22

大丸株式会社道東支店

◆足寄小学校大規模改修（建具）工事請負契約

・契約の方法…指名競争入札
・契約金額…7925万4000円

・納入期日…平成30年12月28日

・契約の相手方…足寄町西町8丁目1番地12
株式会社外田組

その他

◆池北三町行政事務組規約の変更について

(熊澤議員質疑あり)

◆池北三町行政事務組合の解散について

池北三町行政事務組合の解散に伴う財産処分について

池北三町事務組合の解散に係る規約の変更、解散による財産処分及び、同組合の事務と財産を足寄町が引き継ぐため提案するもの。

◆本別町からの資源ごみ処理等に関する事務の事務受託について

陸別町からの資源ごみ処理等に関する事務の事務受託について

平成31年4月1日より資源ごみ処理等に関する事務の管理及び執行を両町から受託するため規約を定め、事務の受託を受けるもの。



資源ごみは継続して銀クリで処理

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

茂足寄、大誉地に係る総合整備計画を策定するもの。

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について

芽登、平和に係る総合整備計画の一部を変更するもの。

決議

◆議会のあり方調査特別委員会の設置に関する決議

足寄町において「議会のあり方」に関する調査・研究、政策提言を行うため特別委員会を設置するもの。

請願

◆北海道主要基幹農作物種子条例の制定に関する請願書

提出者 足寄町農民同盟

執行委員長 八木沼彰男

◆空地及び空き家を適正に管理する事の請願書

提出者

西町8丁目第1自治会

会長 高橋昭弘

意見書

◆北海道主要基幹農作物種子条例の制定に関する意見書

総務産業常任委員会

委員長 高道洋子

(提出先 北海道知事)

第2回 臨時会

5月8日開会
条例改正・契約・
補正予算案などを可決

【条例改正】

- ◆足寄町税条例等の一部を改正する条例
- ◆足寄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ◆地方税法等関係法令の改正に準じた改正

【予算審議】

- ◆平成30年度一般会計補正予算（第1号）
- ◆歳入歳出予算額の総額にそれぞれ2099万1千円を追加し、予算総額を102億1083万4千円とするもの。

【契約】

- ◆可決された主な内容次のとおりです。
- ◆新町イチゴハウスエネルギー供給設備整備実施設計業務 2092万4千円
- ◆温泉付随ガス有効利用システム設計業務 Δ202万4千円
- ◆足寄高等学校振興会補助金 65万2千円

- ◆町民センター改修（第2期）（機械設備）工事請負契約
- ◆契約の方法 指名競争入札
- ◆契約金額…8899万2千円
- ◆工期…平成31年3月13日
- ◆契約の相手方…奥原・白沢・コミヤマ経常建設共同企業体
- ◆代表者 帯広市西20条北1丁目3番30号
- ◆株式会社 奥原商会

- ◆花輪線整備工事請負契約
- ◆契約の方法 指名競争入札
- ◆契約金額…1億3966万5600円
- ◆工期…平成31年1月18日
- ◆契約の相手方…足寄町南6条7丁目22番地
- ◆株式会社 勝建工業

足寄町議会総合条例の規程により、第2回臨時会・第2回定例会における議案等に対する議員個々の採決態度を公表します。

第2回臨時会は、欠席、遅参、早退する議員はいませんでした。

第2回定例会本会議において、多治見議員が14日本会議を欠席しました。

また、提案された個々の議案の賛否の状況については全議員賛成で原案どおり可決されています。

賛否状況等

5月8日に開催された第2回臨時会では、町長からの行政報告2件、報告承認2件、契約4件、条例改正2件、補正予算1件が提出され、原案どおり可決し、閉会しました。

【報告承認】

- ・平成29年度足寄町一般会計補正予算（第13号）
- ・平成29年度足寄町足寄都市計画足寄市街地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号）

平成29年度末において、各種税、交付金、繰入金、繰出金等の変更により予算の補正をする必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がないため専決処分したものの。

補助により野球部の全校応援を実施



- ◆町民センター改修（第2期）（電気設備）工事請負契約
- ◆契約の方法 指名競争入札
- ◆契約金額…7862万4千円
- ◆納入期日…平成31年3月13日
- ◆契約の相手方…足寄町南2条2丁目3番地
- ◆株式会社 横山電気商会



一般質問 2 議員が登場

一般質問の質問内容及び答弁内容は要約してあります

介護現場の人材確保について



高橋 健一 議員

高橋議員 超高齢社会を迎え、介護や医療の担い手不足が加速している。本別町で介護職員確保の目処がたたず、町の特別養護老人ホームの建て替えが延期になったのは、まだ記憶に新しいところである。むすびれっじの認知症高齢者グループホームは、9床を増床して規模拡大を図っているが、4月の開設に向けて準備は順調に進んでいるか。

町長 指定管理予定の社会福祉協議会では、介護サービス全体について、ハローワークへの求人情報登録や、ホームページ等インターネットを利用して随時介護職員の募集を行っている。また、来年4月

の新たなグループホームの開設計画のために、2人の職員を採用済みであり、今後は各種就職セミナーへの参加、高校、専門学校、大学への訪問、就職相談会参加などにより、必要な人材確保に努めていく予定だと聞いている。

高橋議員 最近、介護現場の人材不足の危機を救う高齢者の介護アシスタントが注目を浴びている。資格不要で短時間勤務が原則。一例を挙げると、岩見沢のある施設では、65歳以上の高齢者6人が介護アシスタントとして働いている。勤務は週一回から三回、一日の労働時間は1時間から3時間、時給810円以上が約束されている。この事業に対して、道はモデル事業として1700万円の補助金を支給している。わが町としても一考の価値があると思うが、町長の見解をお伺いしたい。

町長 介護アシスタントの対象者は、資格を持たない元気な高齢者や地域の方たちで、介護職員の負担軽減のほか、就労機会の創出や生きがいづくり、地域での孤立・孤独解消なども目的とされている。このモデル事業は平成30年度も継続して実施されるので、更に、よりよい仕組みが作られて行くものと期待をしている。足寄町内の事業所においては、介護アシスタント制度ではないが、年齢制限を設けずに無資格の介護従事者をパート職員として採用したり、施設の清掃等を高齢者就労センターや障害福祉サービス事業所に依頼するなど、類似の取り組みを行っている。

籍の方が働いている。働き方ははじめでお年寄りを大切にしたい。優しい気持ちの持ち主ばかりだと聞いている。こういう人たちとの交流を深めながら、就業の輪を介護の現場まで広げていけたならと考えているが、町長の見解をお伺いしたい。

町長 平成29年度の法律改正により、外国人技能実習制度の対象職種に介護が追加され、人手不足解消につながる期待される一方で、語学力やサービスの質の低下が懸念されており、渡航費用や学費援助、居場所の確保など、かなりの負担が必要となる。また、文化や習慣も異なる土地での生活でもあり、途中で帰国するケースも想定され、安定的な介護職員確保対策としては不確定な部分が相当あると考えている。

職員の配置基準は、地域密着型ということで、町の条例や規則に盛り込まれている。入所者3人に対して介護職員1人ということで、基本的に9人の定員の所では、1年間のローテーションを考えると、8人から9人の職員の確保が望まれるところである。しかし、人材確保が厳しい折、今の段階では、9人を最初から受け入れるだけの職員を確保できると、ここで断言することはできない。

高橋議員 グループホームは、部分開所もありうると。これはまさしく見切り発車ではないか。これでは、負担が増す他の職員の健康状態も心配になってくる。

町長 残念ながら認知症になってしまおう方が増えている中で、今、足寄町にはどうしてもグループホームが必要。確かに、目指すところは、完璧な姿で、オープンと同時に、9人の方々の受け入れる体制を整えることだが、現実としては厳しい状態にあるのは事実。見切り発車のことも覚悟しながら、社会福祉協議会と共に、職員確保に全力を尽くしていきたい。

高橋議員 少子高齢化による介護人材の不足を補うため、音更町の社会福祉法人「元気の里とかち」では、介護職員としてベトナム人4人の採用を決定した。わが町にも農業研修生として、東南アジア国

籍の方が働いている。働き方はじめでお年寄りを大切にしたい。優しい気持ちの持ち主ばかりだと聞いている。こういう人たちとの交流を深めながら、就業の輪を介護の現場まで広げていけたならと考えているが、町長の見解をお伺いしたい。

福祉課長 グループホームの確保は、全国的に大変な問題になっていきます。むすびれっじのグループホームの介護職員の確保は、今のところ2名ということですが、4月の開所に向けて、9床分の人員確保は大丈夫なのか。

い。

ヘリカルCT肺がん検診 導入の考えについて



神原 深雪 議員

神原議員 日本の最新がん統計のまとめでは、2016年において肺がんによる死亡数が大変多く、男性は1位、女性では2位になっていた。しかし、肺がんはステージ1で発見できれば、5年相対生存率は80%以上とされている。年齢による変化は、男性70歳以上で前立腺がん、肺がんの割合が増加して、女性では高齢になるほど消化器系のがん（胃、大腸、肝臓）と肺がんの割合が増加するとされている。この状況を改善するには、肺がんを早期に見つける努力が大切なこととなる。

低線量肺がんCT検診による肺がん発見率は、胸部X線検診に比べて10倍程度高く、発見された肺がんは早期の比

率が高く、その治療成績も良好であると知られている。

このことから、次のことをお伺いします。

① 近隣町村で行われている、ヘリカルCT検診（低線量CT肺がん検診）に対する足寄町の考えは。

② ヘリカルCT検診を用いた肺がん検診の有効性が示された中で、今後実施していく場合の課題について。

町長 ヘリカルCT肺がん検診は、らせん状に高速回転しながら肺の断面像を撮影するもので、死角がなく解像度が高いことから、胸部X線検診に比べて10倍程度肺がん発見率が高く、発見された肺がんは早期の比率が高く、その治療成績も良好であることが知られている。

① ヘリカルCT検診は足寄町国保病院でも行っており、健康診査のオプションとして1万2500円の自己負担により受診可能で、状況に応じ、

遠隔医療システムにより旭川医大に画像診断の依頼を行っているが、集団検診における胸部X線検診の自己負担額500円と比べ高額なことが課題と考えているものの、早期発見・早期治療によって死亡率が減少する、非常に有効な肺がん検診の方法と認識している。

② 検査費用、自己負担額が従来の検査方法に比べ高額になることと考えているが、今後足寄町国保病院での実施を前提に、前向きな検討をさせていただく。各種健診やがん検診等を多くの町民に受診していただくことが非常に大切であり、引き続きわかりやすい広報、町民が受診しやすい環境の整備に取り組んでいく。

福祉課長 国保病院と相談させていただいて、標準的な肺がん検診としてのヘリカルCTの費用を設定させていただくとともに、自己負担を幾らにするために町の補助を幾らにするかというのを他町村の状況を踏まえながら検討していく。その中で利用、これは当然一般財源でやるものですので、最終的には予算査定で

他の事業等含めて優劣があつて、この予算額というのが決まるかと思えます。そこで、他のPETのがん検診と同様に、例えば限定で何十名で、幾らとか、先着順とかも含め、利用しやすい価格設定をこれから考えていく。

带状疱疹ワクチンの 予防接種について

神原議員 高齢社会に伴い患者数がふえている病気に带状疱疹がある。带状疱疹は加齢や過労により免疫力が低下して発症すると考えられている。

ちくちく、ぴりぴりする痛みが起こつた後、数日で体の左右どちらか片側に赤い発疹ができ帯状に広がり水膨れになる。重症化すると、顔や頭部では視力障害が起きたり顔面神経麻痺を起こして口が閉じられなくなったりする。

高齢者では発症をきっかけに寝たきりになる方もいるそうです。幸いなことに平成28年3月以前から製造されている水痘ワクチンに50歳以上を対象とした带状疱疹に対する効能を追加承認された。現在、任意で接種する場合、帯広市

の病院では6500円でした。この金額では高齢者にとって大きな負担になると思う。これが定期接種の対象となれば、带状疱疹の発症率を下げることはできるのではないかと考える。ふだんの生活に影響を与える激しい痛みで苦しむ方を減らすことができると思いががが。

町長 足寄町国保病院においても実施可能ではあるものの、7580円全額が自己負担となっている。

現在、厚生労働省の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、定期接種化を検討しているワクチンとして、带状疱疹ワクチンの有効性、安全性及び費用対効果等に関するデータ収集を行い、定期接種化の検討がされることになっておりますので、その動向を注視してまいります。



国保病院のヘリカルCT

2氏の講演に 研さん積む

北海道町村議会議長会主催による議員研修会が札幌市で7月3日に開催され、全道各地の町村議会議員1800人も全員で参加してきました。研修会では歴史家の加来耕三氏より「明治維新から150年、現在そして未来を考える」、日本大学法学部教授岩井奉信氏より「現代日本政治と政局のゆくえ」と題しての講演があり、各議員は熱心に聞き入っていました。



左から講師の岩井氏と加来氏

一般質問の その後

利別川沿線 水防工事について

(平成29年6月定例会)

質問

北海道開発局への要請事項と町民への周知について。

回答

平成28年の台風災害以降、北海道による河道拡張、立木伐採等が実施されています。

また、今年3月の融雪による増水もあったため、堤防かさ上げなどの足寄川氾濫対策について、今年5月に北海道庁建設部などの関係官庁へ町長と議長が要請してきています。

詳細やその時の様子については広報あしよろ7月号に掲載されています。

高齢者の運転免許証 自主返納への支援対策について

(平成29年12月定例会)

質問

運転免許証を自主返納し、経歴証明書を受ける際の手数

料助成の考えは。

回答

運転免許証を自主返納され、運転経歴証明書を取得された高齢者の方に交付手数料1100円を助成することとなりました。

その対象者は、①足寄町民、②65歳以上の方、③今年の4月1日以降に証明書の交付を受けた方。以上の全てに該当する方となります。

なお、十勝バスと拓殖バスでは、乗車時にこの証明書を提示することにより、路線バスの通常運賃が半額となります。



(道警ホームページより)

議会Q&A

最終ページに「閉会中の所管事務調査」について

記載がありますがどういう事をするのでしょうか？

質問

委員会は本来、議会の会期中に行うのが原則ですが、日数が足りない場合や調査に関して時期が合わない場合などは閉会中も引き続き行う場合があります。例としては農作物の生育状況調査は小麦の収穫時期に合わせて行われたりしています。

一般的には町政の事務全般にわたって町長の見解を求めるものであり、国や道、一部事務組合などについての事項は質問することはできません。また、要望やお願いをすることもありません。

答弁については主に町長が行いますが、内容によっては教育長や農業委員会会長、各課長が行う場合もあります。

榊原・星・井脇3議員が 自治功労で表彰

北海道町村議会議長会定期総会が6月12日、札幌市で開催され、足寄町議会から榊原議員、星議員、井脇議員の3人が表彰されました。

この表彰は、永年にわたり、地方自治の振興発展に貢献された功績が認められたもので、町村議会議員として15年以上在職した議員が対象とされ、第2回定例会において表彰状が伝達されました。

3人の議員は、平成15年5月に町議会議員に初当選し、現在4期目。



左から星議員・井脇議員・榊原議員



議会の動き

〈5月〉

- 8日 第2回臨時議会・議会運営委員会
総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会
広報広聴常任委員会
- 10日 道東4地区管内町村議会議長会連絡協議会
(鶴居村～11日)
- 21日 第2回一部事務組合議会臨時会
- 24日 広報広聴常任委員会
- 28日 全国議長会議長・副議長研修会(東京都)
- 31日 総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会

〈6月〉

- 4日 議会運営委員会
- 5日 第2回定例町議会・総務産業常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 12日 北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
- 14日 第2回定例議会・議会運営委員会
- 15日 第2回定例議会・議会運営委員会
- 27日 徳島県吉野川市議会行政視察
地方創生調査特別委員会行政視察
(香川県観音寺市・岡山県真庭市～29日)

〈7月〉

- 3日 北海道町村議会議長会議員研修(札幌市)
- 18日 議会のあり方調査特別委員会
- 25日 十勝圏活性化推進期成会夏季要請活動
(札幌・東京～27日)
北海道横断自動車道北見地区早期建設促進
要望(札幌・東京～26日)
総務産業常任委員会
- 26日 文教厚生常任委員会
- 31日 第3回臨時議会・議会運営委員会

閉会中の所管事務調査

常任委員会は、閉会中も引き続き次の所管事務を調査研究します。調査研究の内容は、次号以降でお知らせする予定です。

総務産業常任委員会

- ①空き屋の実態と対策について
- ②農作物の生育状況調査について
- ③土木・建設工事等の執行状況及び道路維持管理について

文教厚生常任委員会

- ①所管施設の現状と課題について

広報広聴常任委員会

- ①議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- ②議会広報・広聴の実施に関する事項
- ③議会広報・広聴の調査、研究に関する事項
- ④足寄町議会ホームページによる広報に関すること
- ⑤足寄町議会の放映による広報に関すること

議会運営委員会

- ①議会運営について
- ②議長の諮問に関する事項について

第3回定例会の日程

第3回定例会は9月4日開会
一般質問は12日からの予定です



議会を傍聴してみませんか

3月、6月、9月、12月の年4回
定例議会が開催されます。どなたでも、自由に傍聴することができます。



議会だより194号をお届けします。

あがとき



利別川と足寄川が合流する本町と非常に類似し、2年前の8月豪雨を思い出すとともに、本町の地形的な危険性を痛感するものでした。

温暖化により大雨が増え、氾濫の危険性は強まっていると専門家は見ています。

本町の洪水ハザードマップでは、浸水想定区域は市街地の3割強で、最悪の場合2階軒下まで水没との想定です、マップを再確認し、高リスク地域の住人は早めの避難が命を守ると肝に銘じましょう。

(多治見亮一委員記)